

はじめに

近年、単身独居者の死亡で、死後数日から数週も経過して発見される、いわゆる「孤独死」の事例が社会問題となっています。しかし、「孤独死」、その定義が明確でないなど、調査を進める上での困難がありました。

東京都監察医務院では、東京都23区内で発生した全ての孤独死の実態を把握し孤独死問題への対策に資する統計資料を作成することを目的として、共同研究「東京都23区内における孤独死実態調査」に取り組んでいます。

この研究成果の一つとして、平成23年9月に、「東京都23区における孤独死統計（平成15～19年）」として取りまとめ公表させていただきました。

その後、孤独死統計について、以降のデータ提供の希望が多く寄せられたため、今般、続編として、平成20～22年分及び23年分として取りまとめました。

今後、平成24年以降のデータは、監察医務院のホームページに掲載していく予定です。本孤独死統計が孤独死問題を考える一助としてご活用いただければ幸いです。

東京都監察医務院長

福永 龍繁